

2019年（令和元年）草の根育成助成 助成事業紹介

分野	スポーツ分野
事業名	中学生ハンドボールクラブの運営
団体名	調布市ハンドボール連盟
実施場所	調布市立調布中学校、調布第五中学校、国領小学校等
地域の課題	<p>＝子どもの基礎体力の低下、継続してスポーツを行える場の不足＝ 「走る、投げる、跳ぶ」という運動の三大要素が必要となるため、体幹を鍛える上で非常に有効な競技であり、小学校指導要領にも記載されている「ハンドボール」を題材として、2015年度より3年間草の根事業育成財団の支援を受け、調布市内においてハンドボール教室を行ってきた。その過程で、小学生チームを立ち上げたところ、市内・近隣地域から総勢50名を越える小学生が集まった。しかし、市内にはハンドボール部のある公立中学校が1校もなく、ハンドボールを続けることができない。一方で、市内の高校にはハンドボール部が全てあり、中学校が隘路になっている。小学生チームに参加した児童のいる近隣地域（三鷹市、渋谷区等）でも同じ状況であり、ハンドボールを続けるためには私立受験か、市外の公立中学校へ通わなければならない。このため、昨年度に中学生チームを立ち上げたところ、男子5名、女子9名（計14名）の中学生が集い、4回／週ほど練習している。</p>
事業紹介	<p>調布市及び調布市教育委員会等の後援を受け、市内公立中学校の協力の下、中学生のハンドボールクラブの運営を行い、今年度は正式なチームとして登録し、公式戦に出場する。</p>
担当者コメント	<p>昨年度と同様、体験会を通じてメンバーを募集、練習では随時体験入部を受け付けて、メンバーを集めていきます。初心者でも楽しく参加できるメニューから、経験を積むにつれて徐々に練習メニューの幅を広げるとともに、近隣の中学生チームとの練習や練習試合を通じて、公式戦で通用するようレベルアップをはかっていきます。子供たちの体力向上、スポーツマンとしての心がけを意識させ、さらに地域コミュニケーションの一助となれば、と考えています。</p>
団体紹介	<p>2015年4月に発足した調布市ハンドボール連盟は、元日本代表選手や日本リーグ経験者を中心に、調布市内や近郊地域での競技の普及と発展を目指して活動しています。これまでは、体験会の開催、競技会の運営、小学生のジュニアチームを設立など、徐々に活動の領域を広げています。</p>

